



# 「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



## 情報を判断する力

昨日から3学期の読書週間が始まりました。今日は一つ、お話を紹介したいと思います。イソップ物語にある「ロバ売りの親子」というお話です。読んだことがある人もいると思いますが、あらすじを話します。

昔、ある親子がロバを売りに町に出かけました。その様子を見た通りすがりの人に「せっかくロバを連れているのだから乗ればいいのに。」と言われたので、子供をロバに乗せて歩いていきました。

しばらくすると、別の人から「親を歩かせるなんて親不孝な子供だ」と言われたので、子供を降ろして親がロバに乗って歩いていきました。

またしばらくすると、別の人から「子供を歩かせて親だけが乗るなんてひどい親だ。一緒に乗ればいいのに。」と言われ、今度は二人でロバに乗って歩いていきました。

さらに行くと、また別の人に「小さなロバに二人が乗るなんてかわいそう。」と言われ、親子は狩の獲物を運ぶように1本の棒に足を括り付けて担いでロバを運びました。

やっと町に近付き、川に架かった橋を渡ろうとしたとき、担がれたロバが苦しがつて暴れだし、川に落ちて流されてしまいました。

結局、親子は苦労しただけでロバを売ることができず、1円もお金を手にすることができませんでした。

さて、皆さんはこの親子をどう思いますか。

この親子はロバを売るために町に歩いていりますが、途中で出会った人から言われるがままに次々と方法を換えていきます。その結果、ロバは川に落ちてしまい、ロバを売るという目的を達成することはできませんでした。いろいろな人の話を聞いて素直にその通りにすることはいいことかもしれませんが、残念ながらこの親子は自分の頭で考えずにロバの運び方を換えてしまいました。

皆さんも、目的を決めて取り組んでいるときに、どうしたら良いか判断を迫られることがあると思います。そんな時、今はインターネットが普及して、SNSなどから様々な情報を手に入れることができます。また、「～なんだって」「～なんだそうだよ」など、自分が確かめたことでなくても、本当かどうか分からない話を人に伝える人も多くいます。情報はいたるところにあります、しっかりと自分の頭で考えて判断をしなければなりません。判断に悩むときは信頼できる人にアドバイスをもらい、判断材料にするのもいいでしょう。

何か物事を達成するために、「チャンス」を逃してはいけませんが、その時に、正しい「チョイス」(選択をする)をすることも大切です。そのための判断力をいろいろな人との関わりの中で身に付けていきましょう。